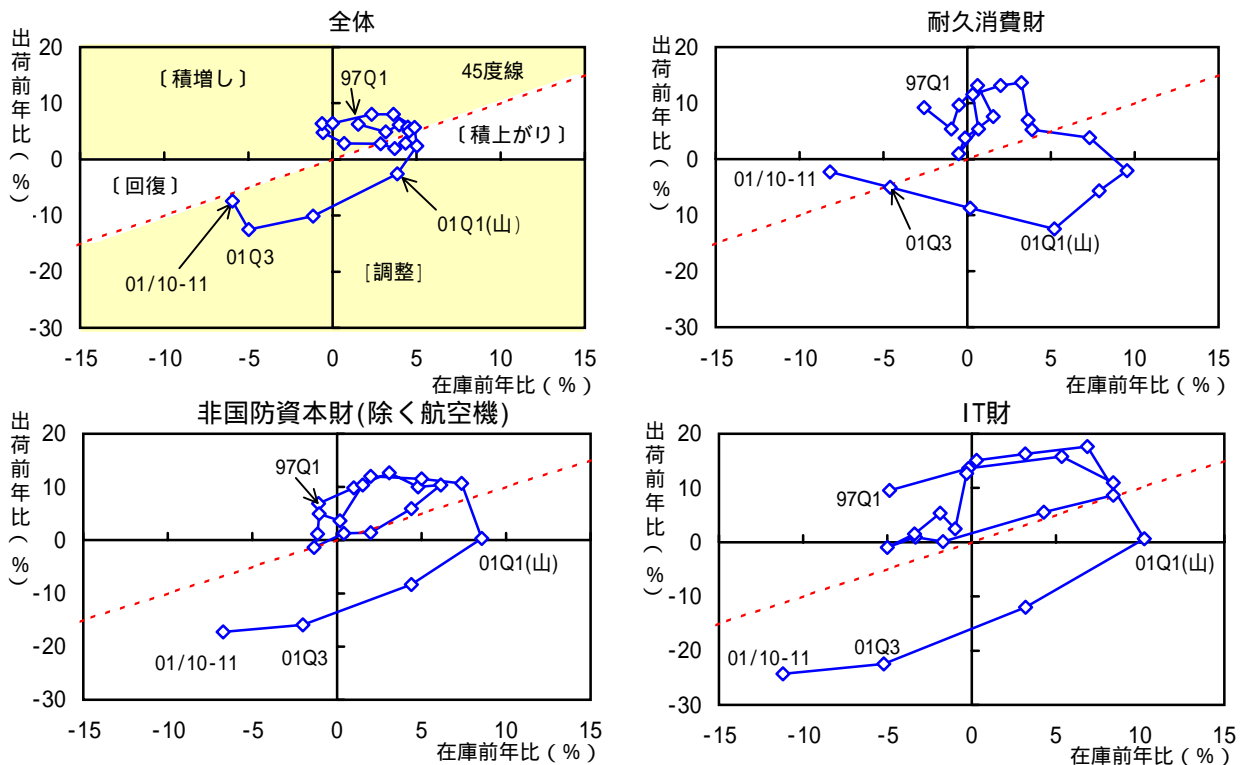


米国製造業における在庫調整の進展と景況感の持ち直し

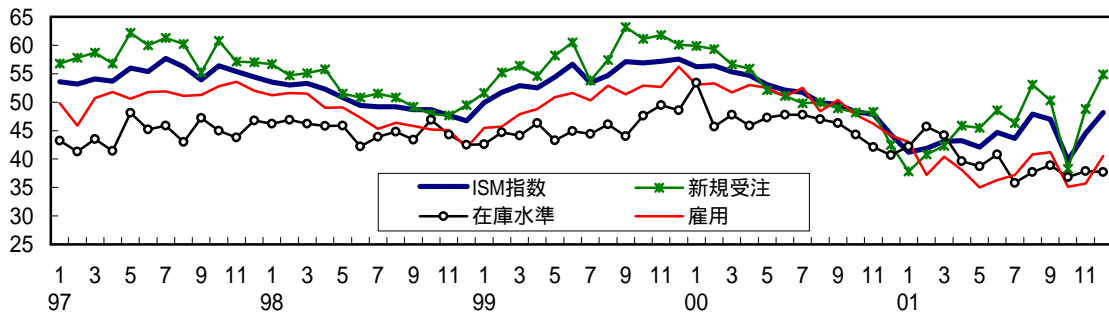
- ・米国製造業における在庫の状況を見ると、急激な減産によって在庫の圧縮が順調に進んでおり、調整局面を終える時期を探る段階に入ってきた。
- ・耐久消費財は、2001年10～11月の時点で回復局面入りしたが、これはゼロ金利ローンにより一時的に需要が増加した自動車の影響が大きい点に注意する必要がある。非国防資本財は消費財にやや遅れて調整がなされている。特にIT財は、2001年4～6月期以降、大幅かつ急速な在庫調整が行われている。今後の消費動向に腰折れがなければ、2002年後半に向けて回復していくものとみられる。
- ・こうした状況のもと、雇用情勢は引き続き厳しいものの、新規受注に対する見方が改善したことなどから、製造業の景況感には持ち直しの動きがみられる。

図表1 米国製造業の在庫循環図



(備考) 米商務省 "Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders" により作成。

図表2 米国製造業の景況感の変化



- (備考) 1. 米供給管理協会 (ISM, 旧NAPM) "Manufacturing ISM Report on Business" により作成。
 2. ISM指数は新規受注など各DIが合成されたもの。各々のDIは、「当月の状況が前月より改善した」と回答した企業の割合 + 不変と回答した企業の割合 ÷ 2」を季節調整して指数化したもの。

[調査部(経済調査担当) 品田 直樹]